

令和4年度 日南市立桜ヶ丘小学校 学校運営協議会評価書

■ 本年度の重点課題 … 1 学力の向上 2 心の教育の充実 3 健康・安全の充実 4 家庭・地域との連携 5 働き方改革の推進

評価基準 「4」 「たいへんよく取り組んでいる」(90点以上) 「3」 「よく取り組んでいる方である」(70～89点)
 「2」 「少し改善(努力)することがある」(50点～69点) 「1」 「まだ改善(努力)をしなければならない」(50点未満)

評価項目	評価指標	学校の自己評価コメント	評価(平均値)		学校関係者評価コメント
			自己評価	委員評価	
1 学力の向上	① 一人一台のタブレット端末等のICT機器を有効に活用することで、子ども達にとって分かりやすい授業となるような工夫がなされている。	<ul style="list-style-type: none"> ☆ 年間を通して校内研究(主題研究)において学力向上を意識したICT研修を推進し、相互参観授業を実施(タブレット端末、ロイノート)の活用した。 ☆ 「授業改善のKeyword」をふまえた取組を推進し、習熟の時間を確保した。 ☆ 朝のぐんぐんタイムの充実(1年生からの復習プリントの活用)を図り、学力の向上を図った。特に5・6年生は、教育事務所のプリント等の活用も図り、問題に対応する能力を高めた。 	職員13名	委員5名	<ul style="list-style-type: none"> ○ ICT機器の活用がうまくなされています。同じ内容が全員で共有されているので、うまく使えば学力の向上にもつながると感じました。 ○ タブレット端末の有効活用が図られており、学習ツールとして児童や家庭への定着が実感できることから、一定の成果があるものと評価できる。一方、学力の向上は引き続きの課題であることから、個々の実情に応じた最適な学びに継続して取り組んでいただきたい。加えて、読書活動のさらなる推進として、タブレット端末の活用も有効と考える。また、場面に応じたアナログ、デジタルの使い分けも重要である。 ○ 高学年はタブレットを使いこなしている。 ○ ICT機器の活用は不可欠であると考えています。子供達が興味を持ち取り組んでいる事は「集中力を高めるとともに、注意点を理解する」ことを考えて御指導戴いていると思います。 ○ 先生と子供の距離感が近く、とても良い。
	② 授業中の子どもたちの発表の仕方や話の聞き方等的確に指導されており態度も良い。	<ul style="list-style-type: none"> ☆ 授業のルール「学習態度の指導」を作成し、授業前、授業中、授業後における7つのルールを徹底することで、学習態度の醸成を図った。 	3.0	3.6	
	③ 子どもたちの読書活動を推進するための手立てがなされている。	<ul style="list-style-type: none"> ☆ 朝の読書活動、読み聞かせの時間を設定し、図書司書と連携して読書に親しむ環境づくりに努めた。 ☆ 「読書通帳」を活用し、家庭と連携(家読、読書だより等)して読書教育の推進に努めた。 			
2 心の教育の充実	④ 子どもたちへの挨拶に関する指導は的確で、子ども達の挨拶も良い。	<ul style="list-style-type: none"> ☆ 学校や地域における「元気」な挨拶の励行を図るために、重点月間を設定し、全校集会において具体的な指導を実施した。挨拶についての良い行いを投稿するための「挨拶ポスト」を設置した。 ☆ 教師自らが児童や保護者等に気持ちの良い挨拶を行い、率先垂範に努めた。 			<ul style="list-style-type: none"> ○ 特に挨拶に関しては隔たりのない挨拶ができてきているように感じます。参観で授業を拝見しましたが、男女関係なく、優しい言葉がけができてきている児童を見ることができ嬉しく思いました。 ○ 挨拶の定着や道徳教育は息の長い取組であることから、学校だけではなく家庭での指導も重要なため、参観日など保護者が集まる場での繰り返しの周知により保護者への浸透も図っていただきたい。参観日などを通して、児童は先生を信頼し楽しく学校生活を送っていると感じている。今後も児童と真摯に向き合いながらのご指導をお願いしたい。 ○ 授業中の態度が良い。 ○ 挨拶等の指導又、相手を思いやる気持ちも含めて取り組みが出来ていると思います。 ○ 無理な挨拶をしていない感じで、好感が持てる。
	⑤ お子さんの学級の雰囲気は明るく、楽しそうに過ごしている。	<ul style="list-style-type: none"> ☆ 月1回「心のアンケート」を実施し、児童の悩み等を把握し、いじめ等の早期発見に努めた。 ☆ 学期1回教育相談を実施し、児童の悩み等の解決に努めた。 	3.5	3.6	
	⑥ 命を守るための指導(道徳教育等)が適切になされている。	<ul style="list-style-type: none"> ☆ 「日南市レインボープラン」に従い、道徳・学活の時間を中心に、計画的に命の教育(性教育含む)を実施した。 ☆ 月に1回、下校指導の日を設定し、全職員で下校時の見守り活動を実施した。 ☆ 「保護者引き渡し訓練」も含む各種避難訓練を実施した。 			
3 健康・安全の充実	⑦ 日常的な健康観察と生活指導を実施することで、基本的な生活習慣の確立がなされている。	<ul style="list-style-type: none"> ☆ 委員会とも連携し、日常から健康についての意識を高く持てるような教育実践を目指した。 			<ul style="list-style-type: none"> ○ 外遊びの推進、保健室前の掲示物などを使っての健康に関する指導がよく、低学年の子でもわかるような内容でとてもよい取り組みだと感じました。 ○ 外遊びの推奨や保健だより等を通じた生活指導の充実が良い取組であることから継続していただきたい。体力づくりや肥満・視力・虫歯は、学校よりも家庭の影響が大きいため、学校からの啓発によるきっかけ作りや参観日等での話し合いなど、家庭との連携強化を図っていただきたい。 ○ 元気いっぱい遊んでいる ○ 感染症、病気、怪しいについては非常に少ないのではないかと感じております。また食育等についての学校だよりも大変参考になっております。 ○ 休憩時間など運動場で遊んでいるということで、心も体もリフレッシュ出来てくると思う。
	⑧ 体力づくりにチャレンジする場や時間を設定し、日常的に体力向上に取り組む指導がなされている。	<ul style="list-style-type: none"> ☆ 外遊びを推奨するため、学級担任や係活動における呼びかけを実施した。 ☆ 体を動かすことが楽しいと思える授業を目指し、体育専科教員による実技指導を実施した。 	3.4	4.0	
	⑨ 保健や食育に関することについて、保護者への啓発がなされている。	<ul style="list-style-type: none"> ☆ 家庭と連携を図った生活指導の充実を図るため、「保健だより」「食育だより」を発行し、学校保健委員会を通じて家庭への啓発を図った。 ☆ 肥満傾向にある児童へ肥満解消の取組及び歯治療率向上に向けた取組を実施した。 			
4 家庭・地域との連携	⑩ 家庭や地域と連携した取組を発信している。	<ul style="list-style-type: none"> ☆ 学校支援地域コーディネーターと連携を図った取組を推進し、桜ヶ丘地区自治会との米作りの実践(地域人材活用)等を行った。 ☆ 油津小、油津中との三校合同研修等の連携による教育活動を推進し、9年間を見通した児童・生徒の育成を目指した(3校合同研修は中止)。 			<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校だよりや、ホームページによって情報は発信されていると思います。コロナ禍ではありますが、もう少し地域の人材をうまく活用できるといいなとも感じています。 ○ 小学校のホームページで日々の学校の様子が分かりやすく記載されていることは良い取組だと思う。また、学校支援地域コーディネーターによる学校と地域の連携強化は、地域で子供たちを育てる、地域を知るという点でとても評価できる。コロナ禍で思うような活動ができないと思うが、学校は地域の拠点であることを踏まえ、多くの先生方と地域、保護者との連携を期待したい。 ○ 学校だよりで情報をもらっている ○ 私の知る限りでは、はっきりと大きい声で挨拶が出来ております。今必要な事は家庭・地域での教養が重要であり、学校の負担を減らすことが出来ると思います。 ○ 学校からの便りで、学校の様子がよくわかる。
	⑪ 学級や学校は、必要な情報を家庭に発信している。	<ul style="list-style-type: none"> ☆ 「学校ホームページ」の更新、「学校便り」の発行等による情報の発信に努め、緊急時等の「桜Eメール」での情報提供を実施した。 ☆ 油津地域協議会をはじめ油津地区における集会等での情報の発信と収集に努めた。 	3.2	3.6	
	⑫ 昨年度の学校評価を活かした学校運営がなされている。	<ul style="list-style-type: none"> ☆ 学校運営協議会による評価等、各種評価による成果と課題を明確にして学校運営の改善に努め、重点目標の設定を行った。 			
5 働き方改革の推進	⑬ 「日南市小中学校における教師の勤務時間の上限に関する方針」の徹底を図っている。	<ul style="list-style-type: none"> ☆ 役割達成度評価における目標設定を実施し、中間ミーティング、評価面談における啓発を実施した ☆ 帰宅時間の意識付けを図るため、「かえるボード」を設置し、帰宅時間を意識して業務改善に努めた。 			<ul style="list-style-type: none"> ○ SSSの活用で、業務負担の軽減を図れているとの事ですが、遅くまで、電気がついていたりすることもあります。定時退校日の設定などがあると良いと思います。 ○ 負担軽減に向けて、積極的に取り組んでいることはとても感じている。SSSの更なる有効活用による事務作業の低減や、業務の選択と集中、他校の優良事例の横展開などにより、教職員の心のゆとりの確保へつなげていただきたい。 ○ 児童のことに一生懸命になればどうしても家に仕事を持って帰ることになるのではないかとと思われる ○ 先生方においては認識を深め、実践されているとお聞きしております。止むを得ず遅くなる事もあると聞いておりますが、先生個々において気持ちの上で「ゆとり」を持ち、行動されていると報告がありました。 ○ 働き方改革は大変ですが、よくやられていると思います。
	⑭ 業務負担の軽減を図ることで、授業改善及び児童と向き合う時間の確保に努めている。	<ul style="list-style-type: none"> ☆ スクール・サポート・スタッフ、ICT支援員の積極活用により業務量の削減を図り、児童と向き合う時間の確保に努めた。 ☆ ICTの活用(校務支援システム等)促進による業務の効率化を図ることで会議の時間を短縮し、児童と向き合う時間の確保に努めた。 	3.1	3.2	

校長所見	<p>【全体所見・令和5年度の方策】</p> <p>1 学力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ タブレットの活用と少人数で学ぶことの強みを生かして、自分の考えを書いたり伝えたりする経験を多く積んだ。教材研究の時間を十分確保し、「読み・書き・計算」の確実な定着に加えて、「根拠をもって自分の考えを相手に伝えられる力」を育むことができるように授業改善に取り組む。 <p>2 心の教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ あいさつの習慣が身に付いてきた。気になる児童の様子を全職員が理解し対策を講じることで、いじめや不登校の早期対応ができた。あいさつの率先垂範を継続し、「自己存在感を味わわせる」「自己決定の場を設ける」「共感的な人間関係をつくる」ことを基軸にした生徒指導体制の充実を図る。 <p>3 健康・安全の充実について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 感染症対策を十分とりながら教育活動を進めることができた。病気欠席は非常に少なく元気に学校生活を送っている。体力向上プランに基づき、体育科の授業改善と外遊びの推奨、特になわとび運動を取り扱った運動の日常化が図られるような取組を実施する。 <p>4 家庭・地域との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学校だよりやホームページ、保健だより等での情報発信を行った。また授業や学校行事を充実させるための学校支援地域コーディネーターによる人材活用も図られた。「挨拶の定着」「健康生活の実現」については、情報提供や参観日・学校保健委員会等の話し合いでテーマとし、啓発していく。 <p>5 働き方改革の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 会議の削減、ICT活用によるペーパーレス化を進めている。時間外勤務時間月45時間超の職員はいない。校務分掌の仕組みを整えることで、職員のモチベーションをアップさせるとともに、一人一人のアイデアを生かしながらワークライフバランスの実現を目指す。
------	--

